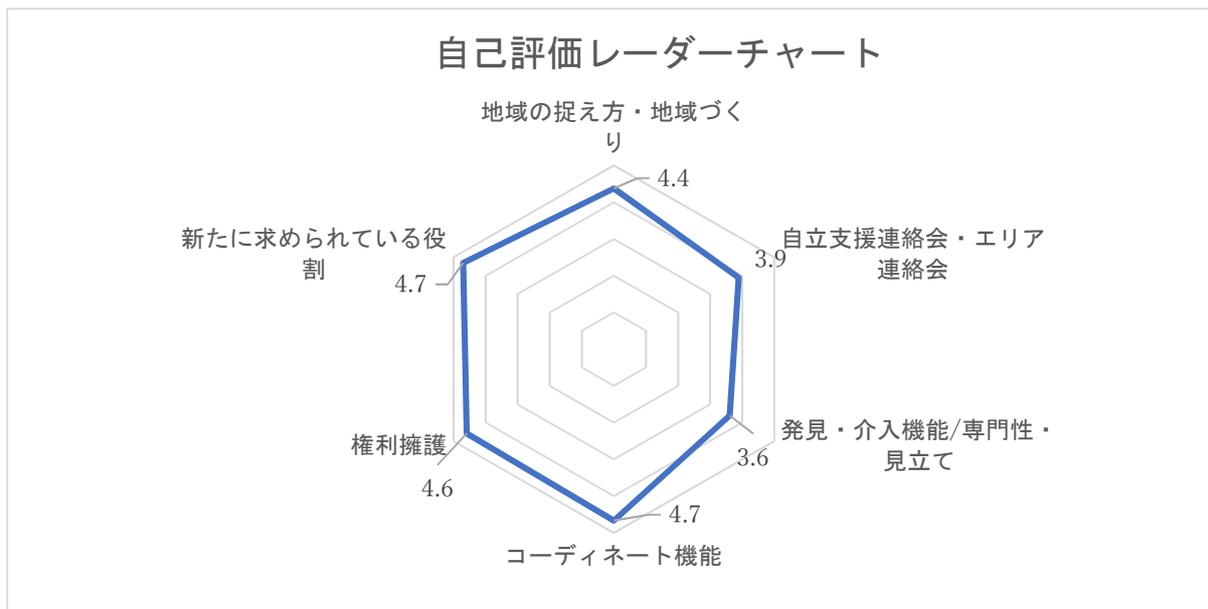


令和7年度委託相談評価 北センター



1. 総評

北センターは、「コーディネート機能」と「新たに求められている役割」で4.7という非常に高い自己評価を得ており、他者評価においても地域連携の要として厚い信頼を寄せられている。「何かあれば北センターへ」という安心感が地域に浸透している。

2. 強み、求められる機能

エリア連絡会活動：ライフステージに合わせた専門的な部会活動を活発に展開している。構成員から「説明が丁寧で分かりやすい」と好評である。また、「北エリア通信」の発行により、活動内容が可視化されている点も高く評価されている。

地域づくりと地域連携：民生委員児童委員協議会の定例会へ原則毎月参加し、事例紹介や助言を行うことで、「顔の見える関係」を徹底して構築している。地域住民の視点に立った課題解決が進んでおり、他者評価でも「センターへの相談が容易になった」と感謝の声が上がっている。また、学校（SSW）や地域包括支援センター、医療機関との連携が非常に強固である。精神科病院からの地域移行支援では行政や病院と密に連携し、「どこにも繋がらない人」を作らない粘り強い支援を実践している。こども家庭センターとは近接性を活かしたスムーズな情報共有を行っている。

3. 今後の取り組みへの期待

- ・ 「こどもアセスメントツール」の活用など、客観的な専門的見立てを可視化するツールの活用が期待される。
- ・ 地域との連携は強固ですが、一部の経路からの相談が停滞しています。民生委員児童委員の改選を見据え、新任委員への継続的な周知と関係再構築が必要である。
- ・ エリア連絡会活動は活発ですが、部会に参加しているのは地域の一部であり、参加していない事業所への周知や、地域全体のネットワーク構築にさらなる仕掛けを期待する。